

2017年11月15日

第45号

全労連

全労連
憲法・平和グループ

憲法 平和闘争ニュース

共同をさらに広げ、安倍改憲を必ず止めよう 憲法共同センターが第4回総会ひらく



11月14日、憲法共同センターは第4回総会を開き、安倍9条改憲を何としてもストップさせるため、「安倍9条改憲NO！全国市民アクション」に結集し、「改憲発議を許さない運動の先頭に立つ」こと、そのために「安倍9条改憲NO！憲法を生かす全国統一署名」（3000万人署名）に全力をあげる方針を確認しました。

船尾徹さん（自由法曹団団長）が主催者あいさつ、日本共産党の山下芳生副委員長が連帯のあいさつをし、総選挙の結果、自民党が圧勝したと言うものの、小選挙区制マジックによる虚構の多数であり、また、希望の党の出現で野党共闘の分断が図られ、そして、森友・加計疑惑や改憲の中身をかたらない争点隠しの結果であったことが確認されました。そして、改憲派の集会では、『天の時を得た』などの言葉が飛び交い、安倍首相は、国会での数を力に来年の通常国会に改憲案を提出する動きを進めているが、



改憲派が多数をしめる国会と、国民の世論状況とは大きくかい離していることを確認しました。

総がかり行動実行委員会の高田健共同代表があいさつし、「2014年12月に総がかり行動実行委員会という共同をつくっていて本当に良かった」と語り、この間の市民と野党の共闘への確信を語りました。「改憲を発議させないために、3000万人署名をやり遂げよう」と力強く呼びかけました。

東京・埼玉の代表からは、総選挙ではギリギリまで共闘の努力を行った、この2年半、市民の共同が後押しして進めてきた「市民と野党の共闘」という財産は崩すことはできないと、実感を含めて語られました。



3000 万人署名で、改憲反対の圧倒的多数派を

『改憲は今、今しかない』とする改憲派との激しいせめぎあい、正念場です。そのなかで、私たちの運動の目標は、改憲派が国会で多数をとってはいても、こわくて発議できない状況をつくること、改憲反対世論を圧倒的多数派にすることです。その運動の軸は「安倍9条改憲ノー、憲法を生かす全国統一署名」(3000万人署名)です。

各団体から、決意と共に、すでに始まっているたたかいは報告されました。

民青同盟からは、「青年は保守化していると言われるけれど、対話した実感は違う、知りたい、何かしたいと思っている青年に、青年の苦しい現状にひきつけて憲法を語っていきたい」と発言。

新婦人は、憲法カフェで学びあい、宣伝にスタンディングに足を出している各地の例をいきいきと発言しました。全教は、管理統制のもと、憲法を課題にした宿題に、校長から待たされたがかる学校まで出る中、今こそ教職員組合の役割を果たす時と奮闘しています。そして、すべての自治体を訪問し懇談しようとして憲法キャラバンを展開する自治労連、『戦争しない労使共同宣言を広げている医労連が発言しました。労働組合の今春闘の柱の一つは、3000万人署名と位置づいています。



全商連鎌田副会長からは戦争体験が語られました。「戦争だけはイヤだ」という悲痛な叫びでした。3000万人署名が、多くの人に待たれていることが示されました。どの団体からも、「3000万は大変な数、やったことのない数。だからこそ、3000万人の声を集めて、9条守れの国民の願いを可視化しよう」と発言されました。主権者国民の声で、9条を壊す改憲発議という、この国を破壊する道を止めようとして確認する総会となりました。



**安倍9条改憲を許さない
森友・加計学園疑惑徹底追及
安倍内閣の退陣を要求する**

11・19 国会議員会館前行動

11月19日 日 14:00~

場所：第2議員会館前を中心に

主催：安倍9条改憲NO！全国市民アクション実行委員会
戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会